

令和4年度サービス水準評価結果

施設概要

施設名称	板橋区立エコポリスセンター	所在地	東京都板橋区前野町4-6-1
所管課名	環境政策課	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
指定管理者名	板橋エコみらいプロジェクト 代表者(株)小学館集英社プロダクション	指定管理者の所在地	東京都千代田区神田神保町2-30
設置目的	だれもが快適に暮らせる社会を目指して、地域環境から地球的規模の環境にまで配慮した生活様式を普及促進することにより、人と環境の共生する都市の形成に寄与し、もって、区民の生活環境の向上に資することを目的とする。		
基本理念	①SDGsの達成に向けた、「環境力」の高い次世代の育成【重点項目】 ②デジタルトランスフォーメーションの推進 ③各主体との連携		
行動規範	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都板橋区立エコポリスセンター条例、その他関係法令・マニュアル等を遵守する。 ・計画的かつ創意工夫を生かした業務の遂行により、経費の節減を努めるとともに、効果的かつ効率的な管理運営を実現する。 ・施設設備の管理や事業の実施にあたっては、常に安全の確保を優先し、来館者等に対して安心して過ごせる空間を提供する。 ・施設に対する要望・意見の把握や来館者等への「もてなしの心」による対応に努め、常に質の高いサービスを提供し、利用者の増加を図る。 ・地域の各種団体との連携と地域の各種事業への積極的な参加により、社会や地域に対しても貢献する。 ・区民ニーズ等の把握に努め、事業を自らまたは外部から評価する仕組みを整備することで、業務を改善し、指定管理者としての説明責任を果たす。 		
業務内容	環境教育の「居場所」としてのエコポリスセンターに生まれ変わらせる。「知る・気づく」→「考える・学ぶ」→「行動する」→「交流する・育てる」のサイクルを確立させ、区民が区民を育てる仕組みを構築する。また、多種多様な広報施策により来館者を増やすとともに、区内へのネットワークを活かし、地域とともに「板橋区の未来」を創造する。		

評価結果

評価項目	事業の目標と具体的な取組		一次評価（指定管理者による自己点検）					評価点	
			実施結果やサービス水準の増減理由など						
【施設の経営方針に関する事項】									
経営方針に基づく具体的な行動									
基本理念	具体的な目標	サービス水準	目標値・実績値（経過）					評価点	
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
基本理念の達成に向けて、経営方針に基づく具体的な目標や取組、サービス水準を設定し、業務に取り組んでいるか	① ESDを推進するための多種多様な事業展開	事業総実施回数 (②-1に掲げる事業の実施数を除く)	目標	420	453	475	489	498	5 / 5
			実績	606					
		増減理由	ウィズコロナの意識が高まってきたこともあり、各種事業の実施数を想定よりも増やすことができた。併せて、各団体等との活動の機会も増やすことができたことから、実績が目標値を大きく上回る結果となった。						
	人材の育成・活躍の促進	人材育成に関わる環境講座参加者数	目標	280	320	360	400	440	5 / 5
			実績	348					
		増減理由	参加者の自粛ムードが緩和してきたこともあり、指導者養成事業に含まれるすべての事業の参加者数が増加した。特に、教員と保育士の参加が大きく増加した。						
	ICTを活用した環境学習の提供	Web環境を活用した事業の実施回数	目標	32	35	38	40	42	5 / 5
			実績	35					
		増減理由	デジタルコンテンツの制作に用いているツールをより高度に使いこなせるようになり、新しいコンテンツを複数作ることができた。また、講座等におけるオンライン対応にも慣れてきて、合計実施回数は目標値を上回った。						
	② いつでも・どこでも学習できる多様なコンテンツの提供	HP、SNS、アプリ等の電子媒体による情報発信回数	目標	720	780	840	900	940	5 / 5
			実績	1523					
		増減理由	講座やイベント等の案内のほか、館内の植物の生長記録や登録環境団体の活動報告等、エコポリスセンターの魅力になりうる幅広い情報を積極的に発信した。また、SNSはツイッター・インスタグラム・フェイスブックの3種を活用し、様々なソースからエコポリスセンターの情報にたどり着けるよう心掛けた。各々のスタッフがこれらの取り組みを進めた結果、目標値を大幅に上回る発信回数となった。						
③ 区民の環境意識向上のための支援	環境講座受講後の知識・考え方の変化があった者の割合	目標	↗	↗	↗	↗	↗	3 / 5	
		実績	86.40%						
	増減理由	実績の数値は前年度と変わらず、横ばいの状況となった。すでに高い割合に達している中で、さらに知識や考え方の変化するような講座内容を仕掛けていく必要があるため、目標達成は容易ではないと考える。							

評価項目	事業の目標と具体的な取組		一次評価（指定管理者による自己点検）					評価点	
			実施結果やサービス水準の増減理由など						
	区民が環境教育を実践できる仕組みの提供	「エコライフサポーター」登録者数	目標	220	240	260	280	300	5 / 5
			実績	272					
			増減理由	コロナ禍による自粛ムードが落ち着いてくるとともに、新たなライフワークを探し始める方が増えているように感じられる。新規で登録申請された方の中には、同様の発想からHPやボランティアセンター等で情報を入手し、申請した方が複数いた。また、現在エコライフサポーターとして活動している方からの紹介で申請する方もいた。					

* サービス水準の採点方法

（5点：達成率100%以上、4点：達成率90%以上100%未満、3点：達成率70%以上90%未満、2点：達成率50%以上70%未満、1点：達成率50%未満）